

小学生特別指導会 兼 第12回全日本小学生ボウリング競技大会

「スポーツ拠点づくり推進事業」

開催要項

- 主催：全日本小学生ボウリング競技大会実行委員会
公益財団法人全日本ボウリング協会、愛知県ボウリング連盟
稲沢市ボウリング協会、稲沢市教育委員会
- 後援：総務省、スポーツ庁、一般財団法人地域活性化センター
公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会
愛知県、公益財団法人愛知県スポーツ協会、稲沢市、稲沢市スポーツ協会
- 協力：日本ボウリング機構（JBO）、東海ボウリング場協会
東海地区プロボウラーズ選手会、稲沢グランドボウル
- 主管運営：愛知県ボウリング連盟、稲沢市ボウリング協会
- 開催月日：2022年8月6日(土)～7日(日)
- 会場：稲沢グランドボウル（公競No.122-64号） BW116L
〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1 TEL 0587-21-2131
- 競技方式：デュアルレーン方式(アメリカ方式)で実施する。
- 競技種目：小学生の学年別・個人戦(男子・女子別・6部門)
1) 小学4年生の部 男子・女子
2) 小学5年生の部 男子・女子
3) 小学6年生の部 男子・女子
- 競技内容：(1) 特別指導会：大会参加者及び地域の小学生(3年生～6年生)を対象にした特別指導会(希望者のみ、大会参加者80名・地元の小学生30名で先着順)全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバー及びプロボウラーが指導に当たる。
指導会参加者には指導会修了証と「スポーツボウリング入門」を贈呈する。
(2) 競技大会：小学4年生以上の者による競技大会
予選 各部門とも、6ゲーム(1ゲーム毎にレーン移動)の競技を行い、その合計得点により上位10名を準決勝進出とする。
準決勝 準決勝では更に3ゲーム(1ゲーム毎にレーン移動)の競技を行い、合計9ゲームの総得点により3位以下の順位を決定し、上位2名を決勝進出とする。
決勝 決勝では1Gマッチを行い、その部門の優勝を決定する。
※各部門とも、すべてスクラッチとする。
※決勝のレーン並びに投球順は決勝進出上位選手に優先的選択権を与える。
- 競技規程：公益財団法人全日本ボウリング協会制定のボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定：同位が生じた場合、ボウリング競技規則第133条に基づき裁定する。

決勝で同点の場合は1ショットのプレーオフを決着がつくまで行う。レーンはそれぞれ決勝で選手名の入力されたレーンで行うものとし、投球順は決勝進出上位選手が選択する。2回目のプレーオフでは、レーンを入れ替えて、投球順は逆とする。

参加資格：小学4年生、5年生、6年生で各都道府県にて開催される指導会兼選考会に参加したものとす。

- 表彰：1) 小学4年生の部(男・女別) 優勝～第10位
2) 小学5年生の部(男・女別) 優勝～第10位
3) 小学6年生の部(男・女別) 優勝～第10位
※優勝者には賞状とカップ及びメダル、稲沢市より賞状が授与される。
※準優勝～第10位の選手には賞状及びメダルが授与される。
4) 各部門とも ハイゲーム賞(楯)が授与される。(予選6ゲームを対象とする)
5) 参加賞 参加者全員に贈る。

エキシビジョン：男・女優勝者を対象にエキシビジョンマッチを行う。(※詳細は後日)

施設使用料：各学年とも 1名 4,000円(新型コロナウイルス対策費を含む)

募集人数：都道府県ごとに全種目合わせて10名を基本割当とする。ただし、各都道府県において参加者が多い場合はボーナス割当をするので主管連盟まで申し出ること。

引率者：選手1名につき1名までとする。
但し、締切り後、追加募集する場合があります。

申込方法：別紙所定の申込用紙(Excelファイル)に必要事項を記入し、各連盟が取りまとめてEmailにてファイルを下記へ送信すること。

申込先：愛知県ボウリング連盟
〒453-0044 愛知県名古屋市中村区鳥居通4-21
TEL 052-433-9910 FAX 052-433-9911 Email: taikai@aichi-jbc.com

申込締切：2022年7月14日(木)厳守のこと

振込先：別紙参照のこと。なお、送金締切日は7月14日(木)、厳守のこと

※ 注 意 事 項 ※

- 1) 納入された施設使用料は、振込締切日以降、返金しない。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- 2) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証(原本または写し)を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。

- 3) 参加選手は、必ず保護者の承諾を得て、また健康であることを確認の上、申し込むこと。
- 4) 代表選手は、各連盟で「スポーツ安全保険」に加入すること。
- 5) 各連盟とも、小学生を指導・監督ができる引率責任者（監督）をつけること。
- 6) 各連盟または個人ユニフォームがない選手は、この大会に限り、襟・袖のあるスポーティな服装でも参加可能とする。ただし、都道府県名と選手名は明示し、公益財団法人全日本ボウリング協会制定の服装規則に準じること。
- 7) 使用ボールは、特に制限はしない。（ハウスボールでも良い）
- 8) 会場及び競技フロアーへのボールの持ち込みは4個以内とする。
- 9) 会場にボールバック等を送る場合は8月4日午後以降の到着で送ること。
会場からボールバック等を送る場合はヤマト運輸の着払いとなるので1個の重量が25kg以内しか扱うことができない。（トリプルバックに小物等を入れたものは不可）
- 10) JBCの定める「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づいて実施する。参加にあたり、選手・引率者は大会当日、新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出し、予防策ガイドラインを遵守すること。遵守しない場合、大会の参加を認めないので注意すること。
- 11) 大会関係者・参加選手・監督・引率者等にIDカードを発行する。IDカードの無い者は競技フロアーに入ることはできない。
- 12) 大会関係者・参加選手・監督・引率者でスマートホンを持っている人は事前に厚生労働省のホームページより新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールしておくこと。https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
- 13) 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名・年齢・性別・記録・肖像等）は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用权は主催者に属する。
- 14) 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。



この事業は、一般財団法人地域活性化センターの
スポーツ拠点づくり推進事業の支援を受けて実施しています。